



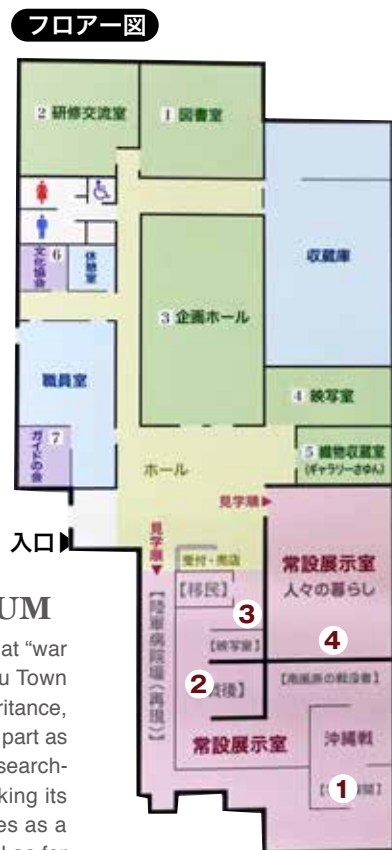
南風原町の昔・今・未来を感じる博物館。

南風原町立南風原文化センターは、「戦争と文化は両立しない」の基本理念のもと、「継承・交流・創造」を柱に、町の歴史や文化の調査・研究・公開を行う専門機関としての活動をしています。また企画展や音楽会・講演会など、県内外との文化交流や平和交流を通して、平和について考え、町の芸術・文化創造の拠点となっています。

常設展示室には南風原が歩いてきた歴史を「沖縄戦」「戦後史」「移民」「暮らし」の4つのテーマで紹介しています。

沖縄戦のコーナーには、南風原陸軍病院壕を再現したジオラマや、壕から出土した遺留品が展示されており、沖縄戦当時の南風原の様子や人々がどのような体験をしたかを学ぶことができ、平和学習の場として活用されています。

企画展や各種事業も関係団体との連携を図りながら、地域の個性・独自性を県内・国内・海外へと広くアピールしています。



HAEBARU TOWN MUSEUM

In accordance with its basic philosophy that "war and culture are irreconcilable," the Haebaru Town Museum has followed its principles of "inheritance, exchange and creation" in playing an active part as an expert institution conducting surveys, researching the town's history and culture, and making its results available to the public. It also serves as a hub for the arts and cultural creation as well as for contemplating peace through scheduled exhibitions, music concerts, lectures and other activities for cultural and peace exchange both inside and outside Okinawa Prefecture.

The permanent exhibition room presents the historical path that Haebaru has taken across four themes: Battle of Okinawa, postwar history, immigration and livelihood.

In the corner focusing on the Battle of Okinawa, a diorama reproduces the Haebaru Army Hospital bunker. Personal effects, which were excavated from caves, are on display. Visitors are able to learn about the experience that people endured, and view scenes of Haebaru during the Battle of Okinawa. This corner utilized for peace studies.

While collaborating with relevant organizations on planned exhibitions and various other programs, the Haebaru Culture Center has made a broad appeal across Okinawa prefecture, Japan and other countries about the individuality and uniqueness of this community.

南風原町立 南風原文化センター

南風原町字喜屋武257番地

【開館】9:00～18:00

【休館】毎週水曜日・12月29日～1月3日

☎ 098-889-7399 FAX 098-889-0529

入館料		小学生	中高生	一般
南風原町の方は無料 ※20名以上は団体	個人	150円	200円	300円
	団体	100円	150円	250円

※団体は予約が必要です。



展示テーマ①「南風原の沖縄戦」

「南風原の沖縄戦」では、体験寝台、手術台、遺物、地形模型など、当時の様子をリアルに感じることができます。

沖縄陸軍病院で生き残った兵士や看護師の証言映像や、南風原陸軍病院で実際に使われていた医療品や日用品などの展示もあります。

また、奉安殿・忠魂碑の実物大模型や、学童疎開、移民と戦争について紹介しています。南風原町だけでなく県内の資料も広く紹介し、沖縄戦全体の動きを理解できるようになっています。



展示テーマ②「戦後・ゼロからの再建」

戦後史は、政治や社会の動きだけではなく、庶民のたくましい暮らし、さらには映画・マンガ・おもちゃなどの娯楽も紹介しています。

戦後生活の始まりの場であった収容所の展示から始まり、年表は県・町だけでなく字の出来事まで紹介し、写真や実物資料などを展示しています。

アメリカ統治時代「ゼロからスタート」した沖縄自らの手で勝ちとった、戦後の正しい歩みを知ってほしい貴重な展示コーナーとなっています。



展示テーマ③「移民」

ハワイ、北米、ペルー、ブラジル、アルゼンチン、ボリビアへの移民を紹介しています。

第一回ハワイ移民や第一回ブラジル移民、そして現在の各国の町人会の様子を展示しています。

貧しい時代に、大志を抱いて遙かなる国に渡って行った南風原の先輩達と、その子孫である2世・3世とのつながりを感じさせます。



展示テーマ④「人々の暮らし」

戦前戦後、物の乏しい時代に生きた祖先達の暮らしの知恵や工夫の様子を紹介しています。

人が生まれてから成長し、亡くなるまでの儀礼を「人の一生」として紹介したコーナーや、当時の民家や庭をリアルに再現した空間から当時の暮らしぶりを伺い知る事ができます。

壁全面には、時間とともに変わる空や、かつての田舎の風景、また黄金森の豊かな自然も色彩豊かに表現されており、懐かしさと暖かみのある古き良き時代を偲ばせるコーナーとなっています。



【企画ホール】

企画ホールでは、文化創造の場として、ミニコンサートなどの音楽会や、文化センターの特別企画展、個展、講座等の催物を開催します。(最大で150人収容可能)



【図書室】

図書館ではありません。あくまでも図書室です。南風原や沖縄に関する、歴史文献資料等をそろえています。



【ギャラリーさゆん】

南風原文化センターが収集した世界の織物や織機などを収蔵しています。個展などの小規模な展示会にも使用できます。